

		アンケート調査設問項目		
No.	設問内容	選択肢	備考	
1. 基本情報				
SA	1	あなたの所属を選択してください	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学 6年制1学科制 ・国立大学 6年制・4年制併設 ・公立大学 6年制1学科制 ・公立大学 6年制・4年制併設 ・私立大学 6年制1学科制 ・私立大学 6年制・4年制併設 	
SA	2	博士課程(4年制)の人数を選択してください	<ul style="list-style-type: none"> ・9名以下 ・10～19名 ・20名以上 	問1:「国立大学 6年制・4年制併設」または「公立大学 6年制・4年制併設」または「私立大学 6年制・4年制併設」
FA	3	6年制課程の定員は何名ですか		
FA	4	4年制課程(創薬系)の定員は何名ですか		問1:「国立大学 6年制・4年制併設」または「公立大学 6年制・4年制併設」または「私立大学 6年制・4年制併設」
FA	5	貴大学で独自に設定している3割の教育内容の中で、創薬関係のものがあれば教えてください(複数ある場合はA、B、Cのように続けて記載ください)		
FA	6	Q5の回答内容のうち、4年制でも学修しているものがあれば教えてください		問1:「国立大学 6年制・4年制併設」または「公立大学 6年制・4年制併設」または「私立大学 6年制・4年制併設」
2. 6年制課程:教育プログラムについて				
		ここからは6年制課程についてお尋ねします。		
MA	7	創薬力強化に関わる教育の重点分野として当てはまるものを選択してください	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬基礎(化学、生物、物理 分析化学を含む) ・創薬応用(製剤・薬剤、薬物動態・薬物治療) ・医薬品製造(製造、品質評価・管理) ・臨床開発(臨床試験・承認申請・市販後安全対策)と薬事規制 ・バイオ医薬(抗体、ペプチド)・核酸医薬・再生医療・遺伝子治療(細胞治療含む) ・統計学・データサイエンス(統計学、回帰分析、多変量解析、臨床試験デザイン・統計、バイオインフォマティクス・オミックス解析、機械学習・AI 応用等) ・その他 	
3. 6年制課程:講義の充実度				
		各分野に関する講義の充実度を評価してください		
マトリクス	8	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品製造 ・臨床開発と薬事規制 ・バイオ医薬・核酸医薬・再生医療・遺伝子治療 ・統計学・データサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く扱わない ・基礎レベル(入門的に触れる) ・基礎理論や概念を体系的に学べる ・講義・演習で実践的に学べる ・専門知識や応用まで深く学べる 	
SA	9	知的財産権に関する講義はありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい(カリキュラムに正式に含まれる／一部の講義で触れる) ・いいえ 	
4. 6年制課程:実習状況				
MA	10	学生実習のある分野を教えてください	<ul style="list-style-type: none"> ・有機合成化学 ・分析化学・機器分析 ・分子生物学・細胞生物学 ・製剤・薬剤学 ・生化学・微生物学 ・衛生化学 ・生薬学・天然物学 ・薬理学・毒性学 ・医薬品製造 ・品質評価・管理 ・バイオ・核酸医薬品製造 ・再生医療・遺伝子治療 ・分子シミュレーション ・データサイエンス・バイオインフォマティクス ・その他 	
		各分野に関する学生実習の教育度合いを評価してください		
マトリクス	11	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品製造、品質評価・管理 ・バイオ医薬・核酸医薬・再生医療・遺伝子治療 ・統計学・データサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く実習を実施していない ・基礎的な体験のみ実施している ・一部を体系的に実施している ・幅広い内容を体系的に実施している ・専門的で高度な実習を実施している 	
FA	12	卒業研究を除く実習・実験の要卒単位数を教えてください		
5. 6年制課程:卒業研究				
SA	13	研究室配属は何年次から行われますか	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次前期 ・1年次後期 ・2年次前期 ・2年次後期 ・3年次前期 ・3年次後期 ・4年次前期 ・4年次後期 ・5年次前期 ・5年次後期 ・6年次前期 ・6年次後期 	
SA	14	全員が卒業研究を行い、卒業論文を執筆または発表しますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ(卒業論文を執筆または発表しない研究室があるなど) 	
SA	15	医薬品の製造・品質評価・管理に関わる研究室がありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ 	
FA	15-1	研究室数を教えてください		問16:「はい」
SA	16	バイオ医薬・核酸医薬に関わる研究室がありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ 	
FA	16-1	研究室数を教えてください		問17:「はい」
SA	17	再生医療・遺伝子治療に関わる研究室がありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ 	
FA	17-1	研究室数を教えてください		問18:「はい」
SA	18	薬事規制・レギュラトリーサイエンスに関わる研究室がありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ 	
FA	18-1	研究室数を教えてください		問19:「はい」
		創薬人材の育成という観点で、特に強調したい点は何ですか? 次の各領域の中から優先順位の高い順に3つ選択してください		

No.	設問内容	選択肢	備考
SA	19-1-1 1番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・A技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA	19-1-2 2番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・A技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA	19-1-3 3番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・A技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA	19-2-1 1番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	
SA	19-2-2 2番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	
SA	19-2-3 3番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	
SA	19-3-1 1番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	
SA	19-3-2 2番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	
SA	19-3-3 3番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	

No.	設問内容	選択肢	備考
SA	19-4-1 1番目(経験)	・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験	
SA	19-4-2 2番目(経験)	・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験	
SA	19-4-3 3番目(経験)	・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験	
6. 6年制課程:連携プログラム			
SA	20 産学連携教育プログラム(例:インターンシップ、共同研究型実習)は実施していますか	・はい ・いいえ	
FA	21 産学連携教育プログラムの内容(期間、企業との連携形態など)を教えてください		問21:「はい」
SA	22 国際連携プログラム(留学、短期研修、海外大学との共同教育プログラム)は実施していますか	・はい ・いいえ	
FA	23 国際連携プログラムの内容(派遣先大学、期間、対象学生の学年など)を教えてください		問23:「はい」
7. 6年制課程:進路状況			
	24 卒業生の進路実績(過去5年間の平均的割合)について、以下の7つの合計が100%になるように入力してください		
FA	24-1 製薬会社(研究)		
FA	24-2 製薬会社(研究以外:臨床開発、薬事、市販後安全対策、MR等)		
FA	24-3 病院・診療所		
FA	24-4 調剤薬局・ドラッグストア		
FA	24-5 行政職(国家・地方公務員、PMDA等)		
FA	24-6 それ以外(医薬品開発が主たる事業ではない企業等)		
FA	24-7 大学院進学		
MA	25 大学院に進学する割合が多い研究分野はどれですか	・化学系 ・生物系 ・物理系 ・臨床系 ・その他	
	26 卒業生が従事する職種(例:薬剤師職、研究職、臨床開発モニター、データマネジメント/統計解析、薬事職、品質管理・品質保証など)を多い順に3つ挙げてください		
FA	26-1 1番目		
FA	26-2 2番目		
FA	26-3 3番目		
FA	27 就職活動において企業から求められているスキル・知識は何ですか(例:データ解析力、プレゼン能力、規制対応力など)		
8. 4年制課程:教育プログラムについて			
FA	貴大学の4年制独自の教育内容についての質問です		以下は、下記を回答した者のみ。 問1:「国立大学 6年制・4年制2学科制」または「公立大学 6年制・4年制2学科制」または「私立大学 6年制・4年制2学科制」
FA	28 4年制独自の教育内容を具体的に記してください。また、この教育内容に該当するコアカリの中項目を、優先順位の高い順に最大3つ選択してください。		
SA	28-1 1番目	B-1 薬剤師の責務 B-2 薬剤師に求められる社会性 B-3 社会・地域における薬剤師の活動 B-4 医薬品等の規制 B-5 情報・科学技術の活用 C-1 化学物質の物理化学的性質 C-2 医薬品及び化学物質の分析法と医療現場における分析法 C-3 薬学の中の有機化学 C-4 薬学の中の医薬品化学 C-5 薬学の中の生薬学・天然物化学 C-6 生命現象の基礎 C-7 人体の構造と機能及びその調節 D-1 薬物の作用と生体の変化 D-2 薬物治療につながる薬理・病態 D-3 医療における意思決定に必要な医薬品情報 D-4 薬の生体内運命 D-5 製剤化のサイエンス D-6 個別最適化の基本となる調剤 D-6-1 処方箋に基づいた調剤 E-1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生 E-2 健康の維持・増進につながる栄養と食品衛生 E-3 化学物質の管理と環境衛生 F-1 薬物治療の実践 F-2 多職種連携における薬剤師の貢献 F-3 医療マネジメント・医療安全の実践 F-4 地域医療・公衆衛生への貢献 F-5 臨床で求められる基本的な能力 G-1 薬学的課題の探究と薬学研究に取り組む姿勢 G-2 研究の実践	

No.	設問内容	選択肢	備考
SA	28-2 2番目	B-1 薬剤師の責務 B-2 薬剤師に求められる社会性 B-3 社会・地域における薬剤師の活動 B-4 医薬品等の規制 B-5 情報・科学技術の活用 C-1 化学物質の物理化学的性質 C-2 医薬品及び化学物質の分析法と医療現場における分析法 C-3 薬学の中の有機化学 C-4 薬学の中の医薬品化学 C-5 薬学の中の生薬学・天然物化学 C-6 生命現象の基礎 C-7 人体の構造と機能及びその調節 D-1 薬物の作用と生体の変化 D-2 薬物治療につながる薬理・病態 D-3 医療における意思決定に必要な医薬品情報 D-4 薬の生体内運命 D-5 製剤化のサイエンス D-6 個別最適化の基本となる調剤 D-6-1 処方箋に基づいた調剤 E-1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生 E-2 健康の維持・増進につながる栄養と食品衛生 E-3 化学物質の管理と環境衛生 F-1 薬物治療の実践 F-2 多職種連携における薬剤師の貢献 F-3 医療マネジメント・医療安全の実践 F-4 地域医療・公衆衛生への貢献 F-5 臨床で求められる基本的な能力 G-1 薬学的課題の探究と薬学研究に取り組む姿勢 G-2 研究の実践	
SA	28-3 3番目	B-1 薬剤師の責務 B-2 薬剤師に求められる社会性 B-3 社会・地域における薬剤師の活動 B-4 医薬品等の規制 B-5 情報・科学技術の活用 C-1 化学物質の物理化学的性質 C-2 医薬品及び化学物質の分析法と医療現場における分析法 C-3 薬学の中の有機化学 C-4 薬学の中の医薬品化学 C-5 薬学の中の生薬学・天然物化学 C-6 生命現象の基礎 C-7 人体の構造と機能及びその調節 D-1 薬物の作用と生体の変化 D-2 薬物治療につながる薬理・病態 D-3 医療における意思決定に必要な医薬品情報 D-4 薬の生体内運命 D-5 製剤化のサイエンス D-6 個別最適化の基本となる調剤 D-6-1 処方箋に基づいた調剤 E-1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生 E-2 健康の維持・増進につながる栄養と食品衛生 E-3 化学物質の管理と環境衛生 F-1 薬物治療の実践 F-2 多職種連携における薬剤師の貢献 F-3 医療マネジメント・医療安全の実践 F-4 地域医療・公衆衛生への貢献 F-5 臨床で求められる基本的な能力 G-1 薬学的課題の探究と薬学研究に取り組む姿勢 G-2 研究の実践	
MA	29 創薬力強化に関わる教育の重点分野として当てはまるものを選択してください	・創薬基礎(化学、生物、物理 分析化学を含む) ・創薬応用(製剤・薬剤、薬物動態・薬物治療) ・医薬品製造(製造、品質評価・管理) ・臨床開発と薬事規制(臨床試験、承認申請、市販後安全対策) ・バイオ医薬(抗体、ペプチド)、核酸医薬、再生医療、遺伝子治療(細胞治療含む) ・統計学・データサイエンス(統計学、回帰分析、多変量解析、臨床試験デザイン、統計、バイオインフォマティクス、オミックス解析、機械学習・AI 応用等) ・その他	
9. 4年制課程:講義の充実度			
	各分野に関する講義の充実度を評価してください		
マトリクス	30 ・医薬品製造 ・臨床開発と薬事規制 ・バイオ医薬、核酸医薬、再生医療、遺伝子治療 ・統計学・データサイエンス	・全く扱わない ・基礎レベル(入門的に触れる) ・基礎理論や概念を体系的に学べる ・講義・演習で実践的に学べる ・専門知識や応用まで深く学べる	
SA	31 知的財産権に関する講義はありますか	・はい(カリキュラムに正式に含まれる／一部の講義で触れる) ・いいえ	
10. 4年制課程:実習状況			
MA	32 学生実習のある分野を教えてください	・有機合成化学 ・分析化学・機器分析 ・分子生物学・細胞生物学 ・製剤・薬理学 ・生化学・微生物学 ・衛生化学 ・生薬学・天然物学 ・薬理学・毒性学 ・医薬品製造 ・品質評価・管理 ・バイオ・核酸医薬品製造 ・再生医療・遺伝子治療 ・分子シミュレーション ・データサイエンス・バイオインフォマティクス ・その他	
	各分野に関する学生実習の教育度合いを評価してください		
マトリクス	33 ・医薬品製造、品質評価・管理 ・バイオ医薬、核酸医薬、再生医療、遺伝子治療 ・統計学・データサイエンス	・全く実習を実施していない ・基礎的な体験のみ実施している ・一部を体系的に実施している ・幅広い内容を体系的に実施している ・専門的で高度な実習を実施している	
FA	34 卒業研究を除く実習・実験の要卒単位数を教えてください		
11. 4年制課程:卒業研究			

No.	設問内容	選択肢	備考
SA 35	研究室配属は何年次から行われますか	・1年次前期 ・1年次後期 ・2年次前期 ・2年次後期 ・3年次前期 ・3年次後期 ・4年次前期 ・4年次後期	
SA 36	全員が卒業研究を行い、卒業論文を執筆または発表しますか	・はい ・いいえ(卒業論文を執筆または発表しない研究室があるなど)	
SA 37	医薬品の製造プロセス・品質評価・管理に関する研究室がありますか	・はい ・いいえ	
FA 37-1	研究室数を教えてください		問37:「はい」
SA 38	バイオ医薬・核酸医薬に関する研究室がありますか	・はい ・いいえ	
FA 38-1	研究室数を教えてください		問38:「はい」
SA 39	再生医療・遺伝子治療に関する研究室がありますか	・はい ・いいえ	
FA 39-1	研究室数を教えてください		問39:「はい」
SA 40	薬事規制・レギュラトリーサイエンスに関する研究室がありますか	・はい ・いいえ	
FA 40-1	研究室数を教えてください		問40:「はい」
41	創薬人材の育成という観点で、特に強調したい点は何ですか？次の各領域の中から優先順位の高い順に3つ選択してください		
SA 41-1-1	1番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・AI技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA 41-1-2	2番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・AI技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA 41-1-3	3番目(知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・5～30年前に確立された一般科学技術 ・5年以内の新たな一般科学技術 ・医療薬学の専門知識(薬理学、薬物動態学など) ・製造工程に関する専門知識 ・GxP(品質管理・品質保証)の理解 ・医学の専門知識(診断、治療など) ・データ分析・統計学 ・AI技術の活用 ・薬事関連法規 ・研究関連法規(カルタヘナ法、動物倫理、化審法など) ・研究倫理(不正防止) ・特許や知的財産に関する知識 ・創薬概論(医薬品の研究開発からPVまでの流れ) ・実例を対象にした創薬過程の体験(PMDAの審査報告書を読み解く) ・医療保険制度 	
SA 41-2-1	1番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	
SA 41-2-2	2番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	

	No.	設問内容	選択肢	備考
SA	41-2-3	3番目(技能・技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・実験遂行力・技術習得 ・論理的思考力 ・文章作成能力(日本語研究要旨程度) ・文章作成能力(英語研究要旨程度) ・プレゼンテーション能力 ・研究企画・立案力 ・プロジェクトマネジメント能力 ・自己管理能力 ・コミュニケーションスキル ・臨床現場の経験 ・臨床試験デザイン 	
SA	41-3-1	1番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	
SA	41-3-2	2番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	
SA	41-3-3	3番目(姿勢・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心・探求心 ・挑戦する姿勢 ・研究指導力 ・創造性・革新性 ・協調性 ・忍耐力・粘り強さ ・適応力 ・患者中心の考え方 	
SA	41-4-1	1番目(経験)	<ul style="list-style-type: none"> ・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験 	
SA	41-4-2	2番目(経験)	<ul style="list-style-type: none"> ・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験 	
SA	41-4-3	3番目(経験)	<ul style="list-style-type: none"> ・学会発表(国内) ・学会発表(海外) ・英語国際論文データ収集 ・英語国際論文執筆 ・国際共同研究 ・困難を乗り越えた経験 	
12. 4年制課程:連携プログラム				
SA	42	産学連携教育プログラム(例:インターンシップ、共同研究型実習)は実施していますか	はい いいえ	
FA	43	産学連携教育プログラムの内容(期間、企業との連携形態など)を教えてください		問43:「はい」
SA	44	国際連携プログラム(留学、短期研修、海外大学との共同教育プログラム)は実施していますか	はい いいえ	
FA	45	国際連携プログラムの内容(派遣先大学、期間、対象学生の学年など)を教えてください		問44:「はい」
13. 4年制課程:進路状況				
	46	卒業生の進路実績(過去5年間の平均的割合)について、以下の7つの合計が100%になるように入力してください		
FA	46-1	製薬会社(研究)		
FA	46-2	製薬会社(研究以外:臨床開発、薬事、市販後安全対策、MR等)		
FA	46-3	製薬関連会社(CRO、CDMO、医薬品卸など)		
FA	46-4	行政職(国家・地方公務員、PMDA等)		
FA	46-5	それ以外(医薬品開発が主たる事業ではない企業等)		
FA	46-6	大学院進学		
MA	47	大学院に進学する割合が多い研究分野はどれですか	<ul style="list-style-type: none"> ・化学系 ・生物系 ・物理系 ・臨床系 ・その他 	
	48	卒業生が従事する職種(例:薬剤師職、研究職、臨床開発モニター、データマネジメント/統計解析、薬事職、品質管理・品質保証など)を多い順に3つ挙げてください		
FA	48-1	1番目		
FA	48-2	2番目		
FA	48-3	3番目		
FA	49	就職活動において企業から求められていると感じるスキル・知識は何ですか(例:データ解析力、プレゼン能力、規制対応力など)		